小さいリノベーションから大きいリノベーションへ

2018年3月28日

福山市にて



shimizu@as-tokyo.com

縮退時代に適合した公民連携まちづくり リノベーションまちづくりとは

今あるものを活かし新しい使い方をして まちを変え、多くの都市地域経営課題を 同時に解決する新しいまちづくりのこと

志を持つ民間の事業者市民の人たちが 遊休不動産を暫定利用するのが基本です

解体撤去・新築型(再開発等)に比べてスピードが速く、収益性が高いのが特長

福山駅周辺でリノベーションまちづくりが動き出している



再生ビジョンが具現化される

次に必要なこと

道路、公園や駐車場をリノベーションして福山駅周辺エリアを変えることです

小さいリノベーションと 大きいリノベーションを 重ね合わせる連携戦略が

福山駅周辺地区のエリア価値を高める

今あるものを活かし新しい使い方をしてまちを変える

リノベーションまちづくり

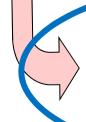
民間不動産活用

公共不動産活用

小さい リノベーションまちづくり 大きい リノベーションまちづくり

家守プロジェクト 【家守会社】

道路、公園等 【PPPエージェント】



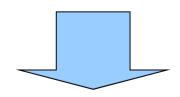
<u>公も民も境目はない</u> 力を合わせて最強の プロセスをつくる

民間不動産と道路を活用して衰退中心市街地を再生

北九州市小倉魚町リノベーションまちづくりの事例

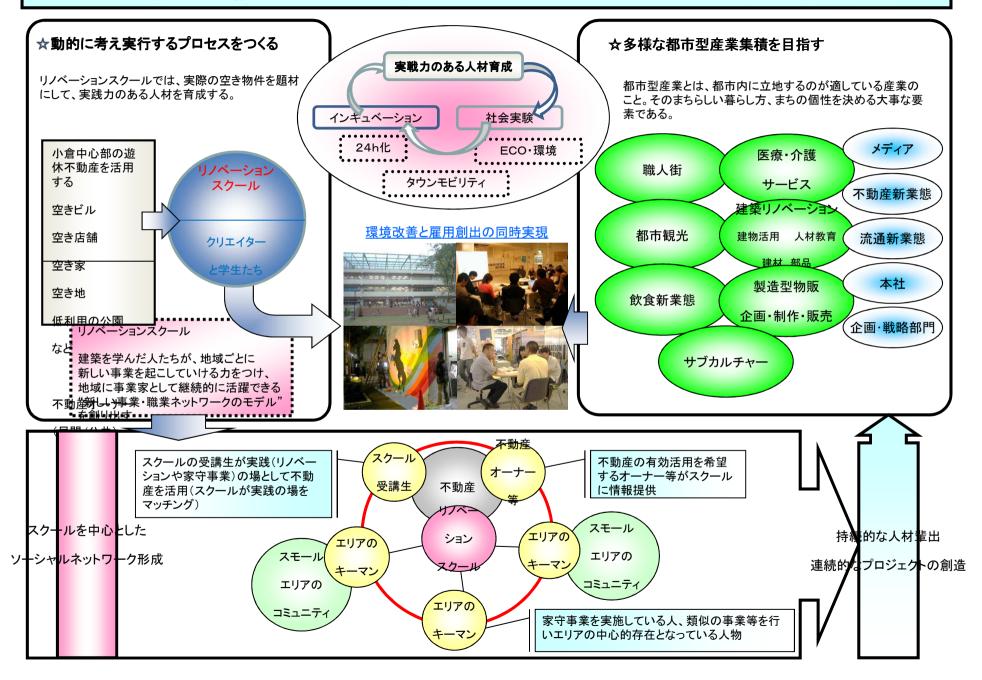
北九州市小倉魚町再生のプロセス

- •2010年度「小倉家守構想」検討・策定
- •2011年3月上旬 発表
- ●2011年6月1日 最初のプロジェクトがオープン
- •2011年~15年 スモールエリアにリノベプロジェクトが集積 魚町銀天街と裏道の歩行者通行量が増加
- •2016年4月 行政は、サンロード魚町を歩行者広場化
- ●さらに賑わいが回復 → 賃料が大幅に上昇



<u>2017年新築の建物が建てられるようになった!</u>

小倉家守構想 2011 概要 ~リノベーションスクールと将来像~



小倉家守構想と実プロジェクト化

「小倉家守構想」検討・策定・発表 =

= 行政の役割

コンセプトをプロジェクトに反映する

最初のプロジェクトの仕込み

最初のプロジェクトの実現

2番目のプロジェクトの実現

3番目のプロジェクトの実現

民間主導でプロジェクトを興して実現していく

市道を公園(広場)に

行政は行政ができることやる





魚町サンロード アーケード撤去後のイメージ



戦略特区で通りを使えるようにし裏通りが賑わうようになった(2016年5月)



公園が変わると まちのイメージが変わる

東京都豊島区南池袋公園 2016年4月オープン













福山市はエリアで最大の 不動産オーナーです

道路や公園等の活用により まち中に市民の方々が寛ぐ場 を整備する

それらを起点としてエリアの価値 を高めて、福山駅周辺エリアを 再生して行きましょう

民間主導の公民連携で 福山駅周辺エリアを変えて行こう!

官民の不動産所有者の協力のもと 「家守(やもり)」や「PPPエージェント」と呼ばれる民間事業者が不動産を活用、自立事業で地域を再生し、持続的発展を目指していきましょう

行政はこの動きを支援して民間主導の公民連携まちづくりを行う

民間の役割

パブリックマインドを持ち、 自主自立するまちづくり事業を 行い、適正な利益を上げること そして利益が積み上がったら、 それをまちに再投資すること

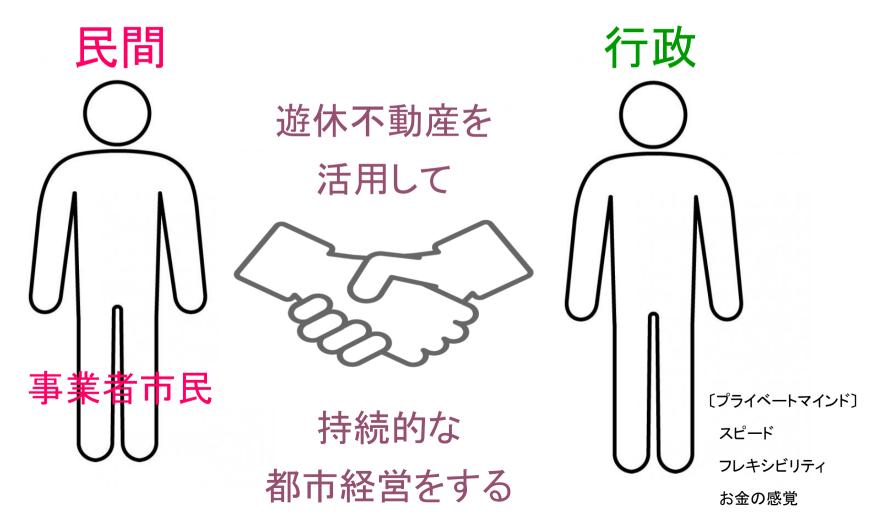
行政の役割

民間の主体的な参加を促し 積極的な民間の活動を支援し 公共全体をコーディネイトする こと、それが行政の役割です

本当の公民連携が求められています

パブリックマインドを持つ

プライベートマインドを持つ



敷地に価値なし エリアに価値あり

この本を読んでみてください

